

7) 特に支援を必要とする子どもや保護者への支援

関係機関と連携し、園の役割を明確にして、一人一人の子どもと保護者に合った支援を、適切に行います。園全体で取り組む基本姿勢と職員の役割分担、協力体制をつくる必要があります。

① 子どもに障害や発達に課題がある場合

- ・子どもが関わる関係機関と連携をとり、園の役割を明らかにして、個々の保護者に応じた支援をする。
- ・専門相談機関に相談しやすいように情報を提供する。
- ・個々の子どもの成長をともに喜び、認め合えるように支援する。
- ・保健福祉課・障害福祉課・障害児童センター・医療機関・児童相談課・教育政策課・こども教育課・学校等との連携を図る。
- ・巡回相談や特別支援教育サポートチームの指導・助言を踏まえ個別の教育支援計画を作成して支援する。

② 不適切な養育等が疑われる場合

- ・こども教育課担当者に相談する。
- ・こども教育課から児童相談課に相談し要保護児童対策地域協議会で検討する。
- ・関係機関と協力し役割分担による支援を行う。

③ 虐待が疑われる場合

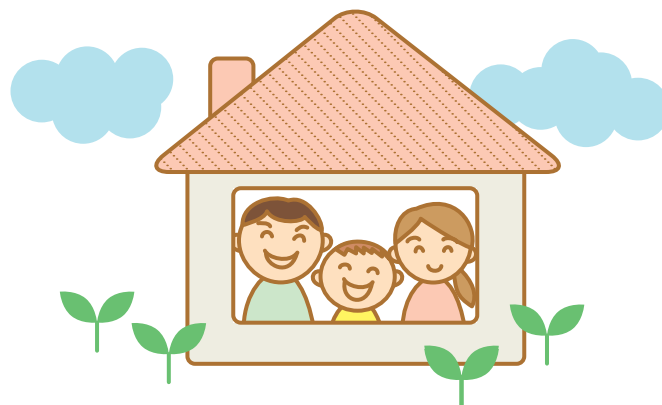
- ・こども教育課または児童相談課にすぐに連絡し、指示に従って適切な対応をする。
- ・要保護児童対策地域協議会で対応する。

【夜間・休日の通報・連絡先】

全国共通ダイヤル24時間
0570-064-000

大阪府夜間・休日
虐待通告専用電話
072-295-8737

チャイルド・レスキュー110番
(大阪府警察本部) 24時間
06-6943-7076
0120-00-7524



2. 地域社会との連携

子育て支援の基本的な方向性を定める摂津市次世代育成支援行動計画（後期計画）では、次世代育成支援の将来像として、『子育てに喜びを感じ、次代を担う子どもとともに育つまち・せつつ』を掲げています。この実現に向けて、地域全体で子育て家庭を支え合い、子育てに喜びや楽しさを感じ、本市で子育てをしたい、してよかったと思えるまちづくりとともに、次代を担う子どもも大人も健やかに生き生き成長できる環境づくりを、市民及び関係機関とのパートナーシップのもと推進することとしています。

乳幼児期の地域とのつながり、学童期の地域とのつながり、様々な人との関わりの中で子どもたちは育っていきます。人と人とのつながりの希薄化、多様な人との関わりが減少している状況の中で、保育所・幼稚園・こども園は、地域とつながる取組みを進めることで、子どもたちが地域とつながり保護者もまたつながっていくことが役割として求められています。

広く地域の関係機関や団体、地域の方々と積極的に連携して、地域の子どもの健やかな育ちを支え、また子どもに対する安全を確保できるように取組みを進めています。ここでは地域社会との連携に関し、保育所・幼稚園・こども園で様々に取り組んでいる事例を記載しています。

1) 地域の子育て支援

近隣地域の就園前の乳幼児と保護者を対象に、安全で安心していろいろな遊具や玩具で楽しく遊べる遊び場、親同士・子ども同士の交流の場、子育ての学びの場として、また、困ったことや不安なことなどを相談できる場として、子育て支援を実施しています。

① 園庭開放・子育て相談など

- ・園庭や保育室を開放し、遊具や玩具を使って親子で自由に遊びながら、他の親子と交流する園庭開放を定期的に行っている。
- ・園庭開放時に絵本の読み聞かせや絵本の貸出を実施している。
- ・親子ふれあい遊び、水遊び等の季節の遊びや行事を行っている。
- ・園庭開放時に保健師や栄養士による健康育児相談を実施している。
- ・随時子育て相談や園の見学を実施している。

② 親子教室・親子体験・子育て講座など

- ・同年齢の子ども同士と一緒にいろいろな遊びや生活の経験をする。
- ・赤ちゃん教室は赤ちゃんの育ち・育て方、離乳食の作り方などを学び合うとともに親同士の交流をする。
- ・親子クッキングや親子給食体験を実施している。



③ 一時預かり・つどいの広場・妊婦さん保育所ふれあい事業

- ・病気や看護などの困った時や冠婚葬祭、保護者のリフレッシュなどの一時預かりを実施している。
- ・つどいの広場を設置し、親子広場や赤ちゃんサロンの交流事業、ベビーマッサージ・ふれあい遊び・英語遊びなどの講座、親のためのリフレッシュ講座などを実施している。
- ・妊娠期から保育所とのつながりが持てるよう、母子手帳配布時にふれあいカードと協力園の案内を配付し、保育所でのふれあい体験を実施して「赤ちゃんふれあいガイド」を配付している。



④ 子育てサークルの活動支援

- ・主に就園前の乳幼児の親が集まって、力を出し合い自主的に企画・運営し、親子でいろいろな遊びを楽しみ交流する子育てサークルの活動支援を行っている。
- ・支援内容には、活動の場の提供、活動に必要な紙芝居やペープサート、遊具などの貸出、遊びのヒント等に活かす保育図書の貸出、サークルの活動の場での遊びの提供、運営や企画の相談への対応などがある。

⑤ 赤ちゃんの駅

- ・赤ちゃんを連れて外出した際に、授乳やおむつ替えに利用できるよう、施設を整備して開放している。
- ・「赤ちゃんの駅」の表示を幟やプレートで行い、利用しやすいようにしている。



⑥ こども110番の家

子どもがトラブルに巻き込まれそうになった時に駆け込めるよう、保育所・幼稚園にも「こども110番」のプレートを掲げている。



2) 小学生・中学生・高校生・短大・大学生との交流

地域の小・中学生、高校生、短大・大学生との交流機会を設け、接する機会の少ない乳幼児との交流を体験し、楽しさと大変さから自分が育てられたことへの振り返りを学ぶとともに、幼児は大きくなることへの期待を持つことができます。

交流の事例

- ・短大との連携で、地域の子ども達に遊ぶ力を身に付けるため、凧あげ、コマ回し、皿回しなどの伝承遊びやスポーツのサーキットなどを広めている。
- ・実習生や大学のインターンシップ生を積極的に受け入れている。
- ・高校生の見学実習や体験学習の受け入れをしている。
- ・高校の運動会に参加し、フォークダンスを一緒に楽しんでいる。
- ・高校生や大学生の夏休みボランティア体験を受け入れている。
- ・中学生の職場体験や小学生の体験学習を受け入れ、園児との交流を行っている。
- ・小学生が一日保育士体験をして園児と交流している。

3) 地域団体・地域の方々との交流

地域には、子どもや子育てに関わる団体、地域の活動に関わる団体など様々な団体があり、交流を行っています。身近な地域の方々との交流を図り、保育所・幼稚園とのつながりを通して、子どもも保護者も地域との関わりが持てるように取り組んでいます。

① 地域団体との交流

- ・地域の自治会で育てている花の苗をもらい、園の花壇やプランター等で育て、環境整備を行っている。
- ・公民館まつり（和太鼓など）や消防出初式に参加している。
- ・老人福祉大会、子ども映画会、摂津まつり、たそがれコンサートなどに、和太鼓演奏で参加している。
- ・こども会との交流会に、自治会長、民生・児童委員、卒園児を園に招待する行事を行っている（映画会、じゃがいも掘り、お楽しみ会、運動会）。園児に自治会長や民生・児童委員の顔を覚えて、あいさつするように指導している。
- ・自治会長や民生・児童委員から普段見回っていて気付いたことなどを話していただくことにより、地域の大人がいつも子ども達のことを気にかけていることに子どもが気付くよう、指導している。
- ・登降園時の交通安全について、保護者とともに地域が協力して安全を確保している。
- ・民生・児童委員との連携が取れており、年に数回、高齢者に園に来ていただいている。
- ・入園式や卒園式には、自治会長や民生・児童委員にも出席いただいている。また、月1回、地域の方を交えて避難訓練や消防署立会いの訓練をしている。
- ・地域の美化活動等に職員が参加している。
- ・校区福祉委員会が実施している地域の子育てサロンに定期的に参加し、手遊びやふれあい遊びなどの遊びを提供し支援している。

② 地域の方々との交流

- ・地域の方達へ積極的なあいさつをしている。
- ・地域のボランティアの方々が毎週絵本を読みに来てくれている。
- ・地域の方が園の畑の手伝いをしてきている。
- ・敬老の日に高齢者との触れ合いを実施している。

- ・いきいきサロンで、高齢者に園児の和太鼓の演奏を見ていただいている。
- ・餅つきで高齢者との交流をする。
- ・お花見やひな祭り会で高齢者との触れ合いをする。
- ・高齢者施設を訪問し、歌や遊戯などで交流する。
- ・一人暮らしの高齢者宅を七夕や節分に訪問し、手作りプレゼントを渡して交流する。
- ・ちびっこサンタになって高齢者宅を訪問し、手作りプレゼントを渡して交流する。

③ 就学後に子どもに関わる地域の団体

- ・子どもの安全に関わる団体、こども会、青少年指導員、スポーツ推進委員、PTAなどがある。就学後を見通して、関係する団体と地域における様々な活動を通して交流が図られている。

4) 地域の子育てネットワークへの参加・参画

地域の子育てネットワークには、摂津市子育て支援ネットワーク推進会議と中学校区の地域教育協議会(すこやかネット)があり、中学校区の子育て支援をともに進めています。保育所・幼稚園も構成員として参加し、地域の様々な取組みに参画しています。

① 摂津市子育て支援ネットワーク推進会議

子どもや子育てに関わる機関や団体が、連携して子育て支援事業を推進し、地域子育て連絡会、障害児相談連絡会、子ども家庭サポーター連絡会の各連絡会として活動を進めている。各保育所・幼稚園は、中学校区の地域連携活動に参加している。

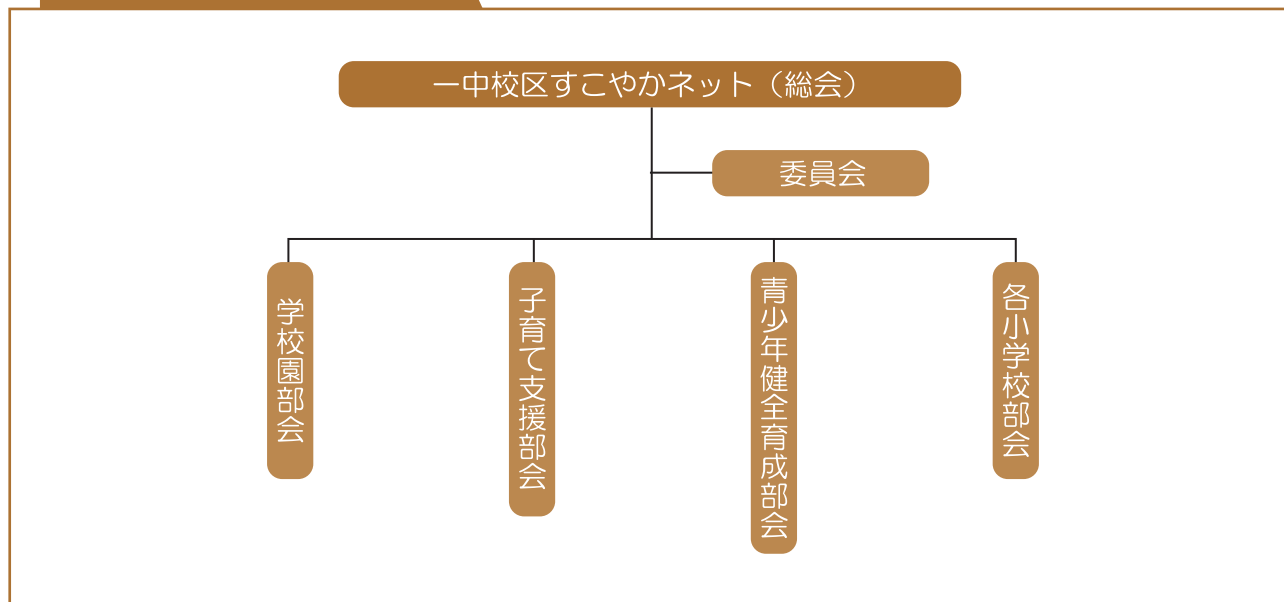
- ・各地域で地域の子育て支援担当者が集まって子育て支援活動の情報交換や連携について話し合う地域別子育て支援担当者会議を行っている。
- ・担当者会議の構成は、公私立の保育所・幼稚園、地区保健師、民生・児童委員、子育てサロンを実施する校区福祉委員会、公民館、つどいの広場、地域子育て支援センター、ファミリー・サポート・センター、児童センター、家庭児童相談室、障害児童センターとなっている。

② 中学校区地域教育協議会

「教育コミュニティ」づくりを推進するために、地域の子ども同士や子どもと大人、大人同士が交流し合い、「顔と名前が一致する人間関係」を育む中で、0歳から15歳までの子どもの連続した成長を見据えた取組みを、中学校区単位に設置された「地域教育協議会(すこやかネット)」として全中学校区で進めている。今後も同じ中学校区内にある公私立保育所・幼稚園・小学校・中学校・家庭・地域団体が連携し、教育や子育てに関する課題を共有し、課題解決に向けて取り組んでいく。

組織の例と取組み事例を次に掲載している。

一中校区すこやかネットの組織例



五中校区すこやかネットGOの取組み事例 たこあげ&ゲーム大会

- ・全体の司会・進行は中学生が担当する。
- ・地域の幼児の親子や小学生が、中学生や短大生にサポートしてもらいながら、凧を作る。
- ・地域の方々による、つきたての餅と豚汁を食べ、五中生徒会が中心となって参加者全員によるビンゴゲームを楽しむ。
- ・小学校グラウンドや淀川河川敷で作った凧をあげる。
- ・中学生の連凧や、凧の会の大凧をあげる。
- ・児童虐待防止のオレンジリボンキャンペーンも同時に行う。



凧作り
天高く
あがるかな?